



取手第二中学校 学校だより
令和8年7月17日発行

文責 校長 丸山 信彦



学校 HP

【組織目標】 「考え・動き・つながる」共に学びと感動のある学校づくり

考え抜く折れない心で、みんなを笑顔に！

4月の始業式から約4カ月。子どもたちは日々の学習や行事、部活動に全力で取り組み、大きく成長しました。子どもたちと教職員の合言葉「みんなの笑顔のために」を達成するために何ができるか、一人一人が問い続け、仲間とともに歩んできた日々です。

時には壁にぶつかることもありましたが、そこで「考えて・考えて・考え抜く力」で、全力でその壁に向き合うことで、しなやかに立ち上がるレジリエンス（折れない力）が育ってきたと実感しています。これまでに培った「考える力」と「レジリエンス」を胸に、さらにたくましく成長する夏休みにしてほしいと願っています。

■ 限界に挑み、仲間と共に高め合う部活動 ■

運動部にとって、3年生最後の舞台となる総合体育大会が開催されました。これまで流した汗と涙、仲間と互いに励まし合い、高め合った日々は、勝敗という結果を超えて一生の宝物です。スポーツは、限界に挑む強い心や、相手を敬う態度を育み、人を大きく成長させてくれます。コートやグラウンドで全力を尽くして戦い抜いたみなさんの姿は本当に立派で、たくさんの感動をもらいました。

見事に勝ち上がり、これから県大会、関東大会、そして全国大会へと臨むチームや選手のみなさん、本当におめでとうございませう。学校、そして地域の代表として、さらに高い舞台へ挑むみなさんの姿を楽しみにしています。これまでの努力と仲間を信じ、自分たちの限界をさらに超えていけるよう、全力で熱いエールを送ります。

その情熱は文化部にもあふれています。吹奏楽部は、いよいよ明日、これまでの努力のすべてを音に込めてコンクールに挑みます。美術部は、秋の体育祭に向けて各団のシンボルとなる団旗の作成に一生懸命取り組み、素晴らしい作品を作り上げてくれました。環境部も、身近な課題に目を向け、日々の研究活動に地道に探究し、主体的に学ぶ姿勢を見せてくれています。

目標に向かって真剣に打ち込み、仲間とともに一つのものを作り上げた経験は、子どもたちの心をたくましく耕します。この部活動の日々が、これからの人生を支える大きな力になるはずだす。



■ 自分たちの学校は自分たちで創る生徒会活動 ■

本校の最大の特色であり強みである生徒会活動は、「自分たちの学校は自分たちで創る」という主体的な姿勢を何よりも大切にしています。その最大の特徴であり、すばらしいところは、生徒会本部、委員会活動、そして学級の係活動へとつながる組織の中で、子どもたち全員がそれぞれの役割を担って活躍している点にあります。誰一人として、ただの「観客」ではなく、一人一人が当事者として学校生活を支え、高め合っています。

先日、生徒会本部役員がこれまでの歩みを振り返り、取手市の教育委員の方々に向けて、自分たちの手でスライドを作成してプレゼンテーションを行いました。みんなが笑顔で過ごせる学校にするための主体的な実践を堂々と発表する姿は大変立派で、教育委員の皆様からもその表現力に大きな称賛の言葉をいただきました。

全生徒が自らの役割に責任と誇りをもち、仲間とともにより良い学校をつくり上げていく。この全員が主役の生徒会活動こそが、取手二中の子どもたち一人一人が輝く本校の大きな原動力です。



■ 「なりたい自分」に挑戦する夏休み！ ■

いよいよ夏休みが始まります。この長い休みは、「なりたい自分」に向かって、自分で決めたことに主体的に挑戦する絶好のチャンスです。

日々の時間を自分でデザインし、勉強や部活動、興味のあることに全力を注ぐ中で、「考えて・考え抜く力」を発揮してほしいと思います。ひと回りたくましく成長した子どもたちと、笑顔で再会できることを楽しみにしています。